

	発行者の略号	東書	教出
	書名	新編 新しい社会 歴史	中学社会 歴史 未来をひらく
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①今と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて「これからの社会を生き抜く力」を育む。	①「学びのチカラで人と社会を未来へつなぐ」を理念に、自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てる。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が「スキルアップ」に設定されている。 ②各時代の特色や社会的事象を議論する学習活動が「みんなでチャレンジ」に設定されている。 ③持続可能な開発目標や領土問題など、現在の日本で起きている課題が取り上げられ、より良い社会を築くための態度と意識を身につけることができる。	①学習したことを整理しながらまとめる「確認」のコーナーが設けられ、学習事項の確実な定着が図られるように構成されている。 ②時代の特色について議論する学習活動が「学習のまとめと表現」に設定されている。 ③巻末の「歴史学習の終わりに」では、学習したことをヒントに、社会的な課題の解決に向けてSDGsの17の目標も参考にテーマを決め、考察と表現を行う学習活動が設定されている。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章や単元には、自発性と対話性を重視し、深い学びを促す構造が整えられている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①各単元には、探求課題を立てる導入部、課題を追究する内容、そして解決をまとめる活動が組み込まれている。 ②国語、道徳など他教科でも扱う内容には、教科関連を示すリンクマークが付され、教科を横断した学習の確認ができる。 ③時代の特色や社会的事象について説明する学習活動が「TRY」に設定されている。 ④代表的な国宝・重要文化財や主な史跡を取り上げた特設ページを設けて、我が国の伝統文化や文化に対する関心を高めることができるようにしている。 ⑤人物や文化財に着目して、地域の歴史を調べる学習活動が「身近な地域の歴史」に設定されている。 ⑥各単元の導入部に、小学校で学習した内容を振り返るページを設けている。 ⑦単元の学習を通して得た情報を、思考ツールを用いて整理し、まとめる活動が設定されている。 ⑧「導入の活動」では資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが掲載されている。	①単元（章）の導入ページでは、「LOOK!」に示された視点を手がかりに資料を読み解き、問題意識を醸成しつつ、単元（章）を貫く課題を捉え、共有できるようにしている。 ②理科と関連する蒸気機関に関する内容が「教科を横断した見方・考え方で歴史の学習を深めよう」に掲載されている。 ③旧石器時代と新石器時代の暮らしを例に、時代ごとの違いや共通点を説明する学習活動が「表現!」に設定されている。 ④世界遺産や国宝、重要文化財の写真にはそれぞれマークが付けられ、伝統・文化に対する関心を高めている。 ⑤「身近な地域の歴史を調べよう」では、地域の歴史を調査し、発表する学習活動が設定されている。 ⑥小学校で学習した人物や文化財を振り返りながら、中学校の歴史学習への関心が高まるように構成されている。 ⑦「資料を読み解いて、中世の時代を振り返ろう」では、資料から情報を読み取り、時代の特色を考える学習活動が設定されている。 ⑧見開き単位で資料に通し番号を示すことで、資料と本文との関係を理解しやすくしている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①学習内容ごとに見開き2ページ程度でまとめられている。 ②AB判が採用されている。 ③読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用することで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させている。	①学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられている。 ②AB判が採用されている。 ③紙面でもデジタル画面でも見やすく読みやすいユニバーサルデザイン・フォントが使用されている。	
イ 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①第1章2節で「歴史的な見方・考え方」を明示してとらえさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークが設けられている。	①「歴史的な見方・考え方」の視点や方法については、冒頭の「歴史にアプローチ」で小学校からの接続もふまえて明示され、本編各章の学習で「見方・考え方」に留意して、それをはたらかせながら学習を深めていけるように配慮されている。
	②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②探究課題を解決する際に、キャラクターの会話を通してアプローチすることで、生徒が問題に対して理解しやすくなっている。 ②多様な思考ツールが紹介されており、生徒が自分の考えを整理しやすい環境が提供されている。	②コラム「歴史の窓」が設けられ、歴史を多面的・多角的に考察・理解することができるように工夫が図られている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③小集団の協働的な活動コーナーとして設けられている「みんなでチャレンジ」では、「個人学習」と「グループ学習」を明示している。 ③学習内容をより深めたり、より広げたり、異なる視点でとらえたりしたコラムを掲載し、多様な興味関心に応えられるようにしている。	③「学習のまとめと表現」に、グループによる学習活動がバランスよく設置されている。教え合いや学び合いによる協働学習をもとに、多角的に理解し、考察を深めることによって、新たな知識の習得や生徒の学習意欲を向上させる工夫が図られている。

	発行者の略号	帝国	山川
	書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	中学歴史 日本と世界 改訂版
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①さまざまな視点から歴史がつかめ、多面的・多角的に考えられる教科書。	①歴史を学ぶことを通して社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を創る力を養うことのできる教科書。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①見開き1時間分の内容が、「導入」→学習を見通す「学習課題」→「本文」→振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化されており、基礎的な知識の習得がしやすい。 ②本時の学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられた「説明しよう」のコーナーが設定されている。 ③「次の場面を探してみよう！」では重要な歴史事象を読み取り、本文の学習課題と関連付けられるなど、学習に意欲的に取り組めるように配慮されている。	①歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が「調査のスキル」に設定されている。 ②各時代の特色や社会的事象を議論する学習活動が「ステップアップ」に設定されている。 ③「現在の世界はどこへ向かっているのだろう」に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が掲載されている。
	（4）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	（ウ）内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①「タイムトラベル」、「世界とのつながりを考えよう イラスト編」では、大きなイラストや重要な場面を探し出す「次の場面を探してみよう！」など、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。 ②本文ページ下段に、「小学校・地理・公民・他教科との関連」コーナーが設けられ、他分野との関連が図られている。 ③時代区分の基準を例に、語句や概念について説明する学習活動が「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」に設定されている。 ④文化史のページは、大きな資料と丁寧な説明により、理解を深められるような配慮がされている。 ⑤地図に載っている場所に言って実際の景観や歴史を調べる学習活動が「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」に設定されている。 ⑥各章の冒頭の「扉」に「小学校で学んだ人物と主な出来事」の年表が掲載され、これから学習する内容にスムーズに入れるように工夫されている。 ⑦「資料活用」に、資料から情報を読み取り、人物の関係性を考える学習活動が設定されている。 ⑧色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などが使用され、色以外での区別ができるように配慮されている。	①見開きの最後には「ステップアップ」を設け、生徒の主体的な学びを促す工夫をしている。 ②音楽科と関連する蛍の光に関する内容が「日露戦争と東アジア」に掲載されている。 ③平安時代の社会の変化を例に、時代の特色を説明する学習活動が「まとめ」に設定されている。 ④世界遺産や国宝に指定された文化財にマークを示して紹介するとともに、各時代の文化を扱い、伝統と文化を尊重する態度を養うよう工夫している。 ⑤「身近な地域を調べよう」「地域からのアプローチ」で、体験学習の充実を図っている。 ⑥小学校で学んだ人物を第1章1節で取り上げ、円滑に中学校での学習を始めることができるようにしている。また、世界の歴史を充実させるとともに、日本の歴史と世界の歴史のつながりが把握できるように、高等学校との接続に配慮している。 ⑦ICTを活用した調査や発表の仕方を「身近な地域を調べよう」に掲載している。 ⑧本文が詳細に記述されているので、読むだけでも分かる構成になっている。また、資料には番号がつけられ解説をわかりやすく掲載している。
（エ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①学習内容ごとに見開き2ページ程度でまとめられている。 ②A B判が採用されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①学習内容ごとに見開き2ページ程度でまとめられている。 ②A B判が採用されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①「タイムトラベル」の中で歴史的な見方・考え方を働かせながら時代の特色を考えることができる。 ①「学習を振り返ろう」では、異なる2つの時代の「タイムトラベル」の眺め直や話し合いを促す工夫で歴史的な見方・考え方を働かせられるよう工夫されている。	①歴史が変化する過程でおこる諸課題がどのように解決され、積み重なってきたのかについて、時期・推移・因果関係・差異から考えることで、歴史的思考を養う工夫をしている。
	②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②多面的・多角的に日本の歴史を捉えるため「地域史」「人物史」、「琉球とアイヌ民族」、「文化史」の扱いを工夫している。	②「歴史へのアプローチ」では、時代を通じた視点・グローバルな視点でみたテーマや、ポイントを絞ってクローズアップしたテーマなど、10のテーマが取り上げられ、多面的・多角的に考察する力を養う工夫がされている。 ②世界の歴史を充実させるとともに、日本の歴史との関連や、現在の国際情勢との関連を意識した記述をするとともに、各章の扉に日本と世界の出来事を上下に分けて示す帯年表が掲載され、視覚的に流れがつかめるように工夫されている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③単元を貫く「章の問い」、「節の問い」や「学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、自然に課題解決学習ができる構成になっている。 ③各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」でつかんだ学習内容の積み重ねが「節の問い」の追究につながるよう工夫されている。	③歴史的分野の学習を振り返り、平和で誰もが暮らしやすい社会について考える学習活動が「現在の世界はどこに向かっているのだろう」に設定されている。

	発行者の略号	日文	自由社
	書名	中学社会 歴史的分野	新しい歴史教科書
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①生徒たちを新しい時代を担う主権者へと育てるため、めまぐるしく変化する混とんとした現代社会を生き抜く力をつけ、「公民としての資質・能力の基礎」を育成することをめざして編集。	①歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して考える手助けとなる教科書をめざして編集。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①まとめ・ふり返りページでは、単元で学習した内容について、年表や地図を活用しながら知識を整理するとともに、知識の定着を図っている。 ②各時代の特色を議論する学習活動が「スキルUP」に設定されている。 ③持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が「歴史+α」に掲載されている。	①歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が「復習問題のページ」に設定されている。 ②「時代の特徴を考えるページ」では、『「ひとこと」作文』の作成や「意見交換会」など、学習した内容をもとに表現する学習が設定されている。 ③持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が「エコロジー都市 江戸」に掲載されている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元で主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	（ウ）内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①歴史について自分で考えたり対話したりして歴史の面白さを体験できる「チャレンジ歴史」というコーナーが設定されている。 ②「連携コーナー」では主に小学校の学習や地理・公民とのつながりを示している。 ③「編（章）の問い」を答えるにあたって、これまで考えてきた「節の問いの答え」をもとにすることや、話型を示すことで、生徒が取り組みやすいように工夫している。 ④各時代の文化の他、文化の多様性、文化財の保存修理の取組など、幅広い視野で学ぶことができるよう工夫している。 ⑤身近な地域の歴史的な特徴を考察するための調べ方を段階的に解説する「身近な地域の歴史の探究」が設定されている。 ⑥導入ページでは「どんな学習をするのかな？」で、小学校の既習内容を確認するように工夫されている。 ⑦情報を収集し、読み取り、まとめる際に必要となる基礎的・基本的な技能についてわかりやすく解説した「スキルUP」コーナーが設けられている。 ⑧「基本用語」では、歴史的分野における重要な語句について平易な言葉で解説している。	①「歴史のとらえ方」では、歴史の考え方やまとめ方について説明されており、生徒が歴史の学び方を理解することができるよう工夫している。 ②美術科と関連するゴッホの絵画が「近世の日本」に掲載されている。 ③「歴史用語ミニ辞典の作成」では、示されたキーワードをそれぞれ3文で説明する学習活動が設定されている。 ④源氏物語や仮名文字に関する資料が「もっと知りたいコラム 世界にほこる女流文学」に掲載されている。 ⑤「地域の歴史を調べる」では、地域の歴史について班に分かれて調査をする学習活動が設定されている。 ⑥「人物を通して次代をとらえる」では、小学校で学んだ主な人物について人物カードを作る学習を設定しており、学校間の接続を工夫している。 ⑦「学習した知識や情報を活用してまとめる『歴史用語ミニ辞典』の作成」が設定されている。 ⑧「対話とまとめ図のページ」で学習内容が概観できるようにしている。
（イ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①学習内容ごとに見開き2ページ程度でまとめられている。 ②A B判が採用されている。 ③ふりがなは大きめのゴシック体を使っており、視認性を高める配慮をしている。	①学習内容ごとに見開き2ページ程度でまとめられている。 ②A B判が採用されている。 ③本文の文体が、です・ます体で記載されている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①導入ページの「トライ」で資料を読み取る活動では、歴史的な見方・考え方を働かせた着目点を示し、生徒の活動を支援している。 ①本文ページでは、学習課題の解決に向けて手がかりになる主な歴史的な見方・考え方の例を示している。	①歴史の変化の中で生じた様々な課題がどのように解決され、蓄積されてきたかを学び、その時期、変遷、因果関係、そして違いを考えることで、歴史的な思考力を養う工夫をしている。
	②社会的な事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②「人物コラム」「先人に学ぶ」「〇〇の女性」「歴史を掘り下げる」など、様々なコラムや特設ページが設けられている。 ②現代的な諸課題について、歴史的背景や今日までの取組を学ぶとともに、自らも関わる切実な問題として捉え、解決に向けて歴史を踏まえて多角的・多面的に考えることができるような教材が掲載されている。	②戦争や裁判をめぐる異なる立場の意見が「占領下の検閲と東京裁判」に掲載されている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③よりよい未来をつくるために何が大切か、現代の課題について、歴史を踏まえて考えることができる『「歴史との対話」を未来に活かす』が設定されている。	③「対話とまとめ図のページ」に、歴史分野の学習を振り返り、対話文を通して時代の特色や解決方法について考える学習が設定されている。 ③「重要語解説」や「事項さくいん」、「人物さくいん」などが掲載されており、生徒が自ら学習を深めていくことができるよう工夫されている。 ③単元を学習した後、発展的に取り組むことができる課題が「チャレンジ」に設定されている。

	発行者の略号	育鵬社	学び舎
	書名	新しい日本の歴史	ともに学ぶ人間の歴史
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①グローバル化の加速する時代に生きる生徒が、広い視野に立ちながら、日本人としての自覚をもって、国際社会で主体的に生きる資質・能力を育てる。	①歴史研究に基づく多様で興味深い歴史の事実を、本文や図版に表す。そこで人々の生きる姿を描き、具体的な歴史の場면을提示することで生徒がその事実の内実や意味を追求し、真理を求める態度を育むことができるようにする。
	（フ）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①歴史の学習に必要な語句や知識・技能を活用する学習活動が「確認」に設定されている。 ②時代の特色を考え議論する学習活動が「学習のまとめ」に設定されている。 ③キャラクターがタイムマシンに乗って時代を旅する「歴史絵巻」を設け、時代を大観し、興味・関心を持つことができるようにしている。	①「学習内容の構造化と焦点化」を重視し、歴史の具体的場面や時代を生きる人々の姿を通して各時代の特色を理解できるようにすることで、生徒自身が歴史の大きな流れを捉えられるようにしている。 ②授業実践の蓄積から、選りすぐった体験学習を紹介している。 ③持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が「パンデミックのなかの難民」に掲載されている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	（エ）内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①各章・節・本文ページには、単元を貫く問いとして「章の課題」「節の課題」「学習課題」を設け、生自身が学習内容の見通しをもてるようにしている。 ②国語科と関連する松尾芭蕉の奥の細道に関する資料が「江戸時代探検！」に掲載されている。 ③「探究」では、歴史的事象の共通点や異なる点を説明する学習活動が設定されている。 ④国宝や世界遺産にはそれぞれマークを付けている。また、各章の冒頭に絵画や写真を掲載し、日本の伝統と文化を尊重する態度を養うよう工夫している。 ⑤「身近な地域の歴史の調べ方」では、身近な地域の歴史について調査してまとめる方法を、具体例を挙げて紹介している。 ⑥「歴史の流れと先人の活躍」では、小学校で学んだ歴史上の人物について確認することができる。 ⑦「資料活用」コーナーでは、情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする活動を促している。 ⑧資料を読み取る際に、キャラクターのセリフによって視点を示している。	①農耕や牧畜が開始した時代の特色を調べる学習活動が「原始・古代の学習課題」に設定されている。 ②国語科と関連する標準語と方言に関する内容が「国語をつくる」に掲載されている。 ③部の学習のまとめでは、時代の特色と時代の転換を振り返りながら大観し、各時代の特色を自分の言葉で表現できるようにしている。 ④文化遺産や作者の名前だけにとどまらず、文化を継承していった人々の営みなどが描きだされている。 ⑤「歴史を体験する」では、火おこしや糸紡ぎなどの体験学習が詳しく紹介されている。 ⑥小学校で学習した人物を調べ、まとめる学習活動が「歴史を楽しく学ぼう」に設定されている。 ⑦各単元で得られた情報を活用し、整理する学習活動が「学習のまとめ」に実施されている。 ⑧時代の特色や国同士の結びつきに関連する写真やイラストが「海でつながる世界」に掲載されている。
	（オ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①学習内容ごとに見開き2ページ程度でまとめられている。 ②A B判が採用されている。 ③視やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。	①学習内容ごとに見開き2ページ程度でまとめられている。 ②A 4判が採用されている。 ③カラーユニバーサルデザインが採用されている。
（イ） 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①「時代や時代区分の表し方」、「歴史的な見方・考え方を働かせる」では、時期や年代、推移、比較などの見方・考え方について、具体例を挙げて説明している。	①その時代の特色を前の時代と比較して考える学習が「学習のまとめ」に設定されている。
	②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②多面的・多角的な視点から、より広く、より深く学ぶことができるように、「歴史ビュー」「人物クローズアップ」などを設け対応している。 ②「歴史ズームイン」には「見方・考え方」のコーナーを設け、資料や学習内容について多面的・多角的な考察を深められるようにしている。	②パレスチナ問題をめぐる情勢や世界への影響に関する内容が「パレスチナの平和-中東戦争と石油危機-」に掲載されている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③歴史的分野の学習を振り返り、学んだことを将来に生かす方法を考える学習活動が「日本の歴史を大観する」に設定されている。 ③「TRY！」では、発展的な内容について調べる、話し合うなどの活動が設定されている。	③歴史的分野の学習を振り返り、現代と関連付けて課題を解決する方法を考える学習活動が「学習のまとめ」に設定されている。 ③「歴史を体験する」では、調べ学習や討論、体験活動など学習したことをもとに発展的に取り組むことができる課題を設定している。

	発行者の略号	令書	
	書名	国史教科書 第7版	
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①歴史や伝統を尊重し、歴史の良識を身につけられるように構成。 ①基本的な知識や技能の習得と、発展的学習をバランスよく構成。 ①答えではなく問いを適することを重視。 ①我が国の歴史と伝統に誇りが持てるように構成。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が「〇〇のまとめ」に設定されている。 ②社会的事象をグループに分かれて議論する学習活動が「ディベートをしてみよう」に設定されている。 ③持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が「国際協調と日本の役割」に掲載されている。	
	(イ) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①資料を掲載することで、歴史における資料の重要性を学び、主体的に取り組める工夫がされている。 ②美術科と関連する時代ごとの美術作品が「日本美術図鑑」に掲載されている。 ③土器の使用による生活の変化を例に、時代の変化とその要因を説明する学習活動が「考えよう」に設定されている。 ④各時代の文化に関する記述が複数あり、文化の特色を考察しやすくする工夫がある。また、巻末に「日本美術図鑑」が掲載されている。 ⑤展覧会に行き、その時代や文化に関連する品物を調べる学習活動が「展覧会に行こう」に設定されている。 ⑥小学校で学習した人物や文化をカードにまとめる学習活動が「小学校で学んだ人物と文化」に設定されている。 ⑦文献資料が多く掲載されており、調査活動を促進している。 ⑧学習内容に関連して現代語訳された史料が「文献史料」に掲載されている。	
	(エ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①学習内容ごとに見開き2ページ程度でまとめられている。 ②A5判が採用されている。 ③人物や歴史的な事象に関する語句は、フォントを変えて記載されている。	
(イ) 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①時期や比較の視点で時代の特色をまとめる学習活動が「時代ごとの特色をとらえよう」に設定されている。	
	②社会的な事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②歴史的な事象を賛成・反対の立場に分かれて議論する内容が「歴史について議論しよう」に掲載されている。	
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③章のはじめには、その時代を意識できるイラストが掲載されており、生徒が時代を意識して課題を追究、解決できるような工夫がなされている。 ③歴史的な分野の学習を振り返り、日本が古代から国家を継続している理由について考える学習活動が「平成から令和へ」に設定されている。 ③巻末に資料がまとめて掲載されており、生徒が自ら調べて課題を追究することができるようになっている。	